

障がいのある子どもたちが身に付けています！

ハートバッチを ご存知ですか？



見た目では障がいがあるように見えなくても、それぞれ生活する上での困難を抱えている子どもたちがいます。

- ◎コミュニケーションをとるのが難しい
- ◎周りの状況を理解するのが難しい
- ◎障がい特有の言動がみられる
(独り言、突然大きい声を出す、
飛び跳ねる、手をひらひらかざすなど)

その中には、地域で生活するための社会訓練を一人で頑張っている子どもも多くいます。このマークを身に付けた子どもを見かけたら、障がいがあることをご理解いただき、どうか温かい気持ちで見守ってください。

身近な地域の中で生活している障がいのある子どもたちのことを、このマークを見て、少しでもご理解いただければ幸いです。

ハートバッチとは？

『我が子に障がいがあることを周囲の人に理解してもらい、温かく見守って欲しい』という願いから作られたハートバッチ。

宮城県立古川支援学校の保護者の方々から始まった普及活動が、現在は仙台市内をはじめ県内外の支援学校にも、その活動の輪が広がっています。



バスに乗ってお出かけしますの
たのしみ～♪



社会生活訓練中ですの
ドキドキだけど頑張るよ！

宮城県立光明支援学校PTA

連絡先：〒981-3213

宮城県仙台市泉区南中山5-1-1

電話：022-379-6555

FAX：022-379-6557